

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習指導 A	HSP33-005	選択	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
間嶋 健	B312	ken.majima		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>精神保健福祉士の倫理や価値を学ぶとともに、それぞれの実践現場の特徴や支援方法について学ぶ。</p> <p><概要>精神保健福祉士の支援や置かれている立場についての理解を深めるための事例を提示する。事例検討や精神保健福祉士の役割や課題分析のためのグループワークを実施する。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	事例検討や地域分析を行うため、前提となる基礎的な知識について復習しておくことと良い。適宜、関係機関にフィールドワークに赴くことがある。				
教科書	最新 精神保健福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習 [精神専門] /編: 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	なし				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉士現場実習の目的や学習課題について理解する。			HSU(2)、HC(3)、(5)	
②	精神保健福祉士の支援に必要な基本的価値や倫理、支援技術について習得する。			HSU(2)、HC(3)、(4)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法、学習方法) を実施する	講義	シラバスを精読する。	4	
2	精神保健福祉援助実習の意義と目的、プロセスについて学ぶ。	講義	教科書の該当章を精読する。。	4	
3	精神保健福祉士援助実習に望む心構えや注意事項について学ぶ。	講義	教科書の該当章を精読する。。	4	
4	精神保健福祉士が活動する現場 (精神科病院) について学ぶ①	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
5	精神保健福祉士が活動する現場 (精神科病院) について学ぶ②	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
6	精神保健福祉士が活動する現場 (就労移行支援事業) について学ぶ①	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
7	精神保健福祉士が活動する現場 (就労移行支援事業) について学ぶ②	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
8	精神保健福祉士が活動する現場 (精神科グループホーム) について学ぶ①	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
9	精神保健福祉士が活動する現場 (精神科グループホーム) について学ぶ②	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
10	精神保健福祉士が活動する現場 (保健福祉センター) について学ぶ①	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
11	精神保健福祉士が活動する現場 (保健福祉センター) について学ぶ②	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
12	精神保健福祉士が活動する現場 (福祉事務所) について学ぶ①	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
13	精神保健福祉士が活動する現場 (福祉事務所) について学ぶ②	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
14	実習中の記録方法について学ぶ	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
15	全体の総括 (実習に向けたまとめ)	演習	教科書の該当章を精読する。。	4	
試					

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	100	0	0	
総合力指標	知識・技術力	0	0	30	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	30	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	30	0	0	30
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	演習、グループワークの報告、発表時の姿勢や内容等により教員が評価。評価にあたっては報告、他の学生の発表に対する反応・リアクション等も考慮する。				授業の中で講評及び解説を行う。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	事例検討においては、実際的な解決方法の提示や、ソーシャルワーカーが陥りやすいジレンマの回避方法等を教示する。						
そ の 他	1) 大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 2) 今後の感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 3) 「ソーシャルワーク演習」を履修し、単位を取得していること。 4) 精神保健福祉士国家資格取得希望者は必須科目につき必ず履修すること。 5) 学外実習に向けた科目であるため、原則として遅刻や欠席は認めない。やむを得ず遅刻や欠席をする場合は、必ず所定の手続きを踏むこと。						